

力の限り跳んで、走って、応援して  
限界に挑む「喜多郡小学校陸上競技大会」

「令和7年度喜多郡小学校陸上競技大会」が10月7日、内子運動公園で開催されました。町内7校から延べ209選手が出場。男女7種目で自己ベストを目指して競技に挑みました。開会式では五十崎小学校の船田湊翔（ひろと）さん、中川智愛（ちあ）さんが「暑さに負けず練習を重ねてきた。最後まで諦めず全力で挑みたい」と選手宣誓。応援席からは児童や保護者から温かい声援が送られていました。

種目名		氏名	記録
60メートル走	男子	池田 琉空（内子）	8秒9
	女子	福岡 愛莉（内子）	9秒2
100メートル走	男子	中越 一真（天神）	14秒3
	女子	福岡 愛莉（内子）	14秒9
60メートルハードル	男子	藤岡 弘輔（内子）	9秒6
	女子	菊地 帆乃（内子）	11秒0
走り幅跳び	男子	植田 健太（内子）	3メートル97
	女子	二宮なつめ（小田）	3メートル45
走り高跳び	男子	山内 湊汰（五十崎）	1メートル25
	女子	藤島 梨音（五十崎）	1メートル20
ソフトボール投げ	男子	安藤 翔太（内子）	47メートル07
	女子	中川 智愛（五十崎）	46メートル75
400メートルリレー	男子	内子小学校	58秒2
	女子	天神小学校	1分2秒7



1\_「応援してくれる人々への感謝を胸に、正々堂々と競技します」と、元気いっぱいに選手宣誓をする船田さん（左）と中川さん 2\_走り幅跳びで力強い跳躍を見せる 3\_軽やかにハードルを越えていく選手たち 4\_紙一重の接戦を制するのは、果たして――

「かわらないように、かえてゆく」  
環境基本計画の具体策を住民らが議論

7年度から10年間の「第3次内子町環境基本計画」に基づき、具体的なアクションプランを策定する第1回の住民会議が9月27日、内子自治センターで開かれました。

同計画は内子の豊かな自然や歴史、文化などを守るため、必要な環境施策について定めるもの。会議は全4回、高校生を含む住民が専門家の助言を受け、具体策を話し合います。今回は「脱炭素」

がテーマで、(株)ウエザーニューズの折野未莉さんがデータに基づく100年後の天気予報など、(有)内藤銅業の内藤昌典さんがバイオマス発電の取り組みなどを紹介。参加者は解説を受け「脱炭素を伝える伝道師が必要」「公園に手回し発電機を置いて、遊んで学べるといい」などのアイデアを出し合いました。プランは集まった意見を踏まえ、年度内をめどにまとめられます。



上\_グループに分かれて意見交換 下\_「この会議から未来を変える第一歩を」と愛媛大学の高橋真教授

内子町の新しい公共交通サービスが10月1日から始まり、出発式が役場本庁前で行われました。既存の路線バスやデマンドバスに加え、内子・五十崎地域の市街地で利用できる乗り合いタクシー「チョイソコうちこ」、小田地域で住民ドラ

新公共交通サービスで外出支援  
健康増進や経済活性化にも期待

イバーが運行する「共助型ライドシェア」などが新たにスタート。利用は事前登録制で、自宅近くから目的地まで乗車できます。小野植正久町長は「人口減少下でできる公共交通を求めてきた。利用しながら、より良いサービスに育てたい」と語りました。



関係者によるテープカットの後、役場職員らが専用車両の出発を見送った



大程さん（中央左）には、青少年海外派遣事業の参加権が与えられる

「第23回内子町中学校英語弁論大会」が9月24日、共生館で開かれました。町内各中学校の代表者6人が、家族とのエピソードや憧れの人物などを題材にスピーチしました。最優秀賞の大程愛華さん（大瀬中3年）は、小学1年から習っている狂

中学生が英語で伝える感動、情熱――  
思いを豊かに表現した弁論大会

言について、せりふから自身の生き方を振り返った内容を表情豊かに語りました。審査した愛媛大学准教授の三浦優生さんは「構成や話し方で聴衆の心をつかんでいた。多くの扉を開いてくれる英語に、たくさん触れてほしい」と講評を述べました。



上\_追悼の歌を捧げる内子中学生 下\_祭壇に献花して、故人の冥福を祈る参列者

戦争で亡くなった人を悼み、平和を祈願する「内子町戦没者慰霊祭」が10月7日、内子東自治センターで行われました。

式では小野植正久町長が「戦没者や残されたご遺族の悲しみに思いをはせ、平和の実現に努めたい」と哀悼の言葉を述べ、続いて遺族代表の藤瀬利通さんが「私が4歳の時に戦死した父。一緒に過ごし、杯を交わしたかった。戦争は許されない愚

戦後80年、平和への誓い新たに  
内子町戦没者慰霊祭を挙

かなこと。世界中に一日も早く平和な日々が来てほしい」とあいさつしました。また内子中学校3年生が追悼の歌を合唱。参列した遺族など68人が献花して、1026柱の御霊の冥福と平和を祈りました。内子町遺族会会長の本田富雄さんは「戦後生まれの会員が多く、戦争を知るのが難しくなっている。平和の尊さを次世代に引き継ぎたい」と思いを新たにしました。



# 名月輝く町並みをそぞろ歩き—— 町並保存地区で恒例の観月会



中秋の名月を愛でる「八日市町並観月会」(同実行委員会主催、芳我明彦委員長)が10月5・6の両日、八日市・護国地区の重要伝統的建造物群保存地区で開かれました。当日は輝く月が夜空に浮かび、美しい町並みと人々の笑顔を照らしていました。行灯の柔らかな光でライトアップされた町並みには、2日間で約4,000人が来場。琴や尺八の演奏、はぜとり踊りや月見団子の販売などもあり、風情ある町並みを楽しみながらそぞろ歩きました。



1\_「はぜとり唄」に合わせて踊る翠月流の皆さん 2\_行灯に照らされた幻想的な町並み 3\_行灯に火を灯す 4\_高昌寺のお月見茶房で団子に舌鼓 5\_芳我明彦さんの琴の音色が通りに響く 6\_きれいな行灯に喜ぶ子ども 7\_上芳我邸の上に昇る月。格子戸からこぼれる明かりもすてき 8\_清正ひろばで月見を楽しむ 9\_清正川に並ぶ竹行灯 10,11\_手漉き和紙の作品展示会場にて 12\_橋本岳人山さんの尺八の演奏



## どんな仕事があるんだろう？ 中学生の職場体験「ジョブチャレ」

「うちこ版えひめジョブチャレンジU-15」が10月6～10日の間、町内外の事業所で行われました。町内の中学2年生125人が59事業所で仕事を体験。働く楽しさや大変さ、自分の将来について考える機会となりました。

中)は「広くて場所を覚えるのが大変。でもいろんなジャンルに触れられて楽しい」と振り返りました。介護老人保健施設アソビシオンうちこ園では、食事の配膳やレクリエーション、車いす乗車体験などを実施。高本梨愛さん(内子中)は「利用者さんとの触れ合いが楽しい。人のお手伝いができる、すてきな仕事だと思う」と笑顔で話しました。



1\_図書情報館で本の受け入れ作業 2\_うちこ園で利用者とかたるた取りをする高本さん(中央) 3\_道の駅からりではアイスクリーム販売などを体験



吉田 風沙さん(内子中)

大森すみれさん(内子中)

## 小田幼稚園で南予初の取り組み 地域と人の魅力を生かした課外授業

小田幼稚園で開園時間外に外部講師を迎えて学ぶ課外授業が、9月22日から新たに始まりました。南予地方の公立幼稚園で初の試みです。

この事業は同園の魅力化に向けて、地域や人との関わりを生かした教育を行うもの。その一環で、町の外国語指導助手を招いた「おだっこチャレンジABC教室」を毎週実施しています。10月6日は講師のパトリックさんが食べ物や動物などの英語クイズを出題。園児らはジェスチャーや英語でのやり取りに積極的に挑戦しました。副園長の松本実予さんは「今後は地域の皆さんも講師に迎える予定。小田の魅力である人の温かさ、豊かな自然の中で育つ素晴らしいと話しました。」



元気いっぱいの園児たち。教室は午後2時から1時間。来年度からは町全域の幼児が入園可能になります。